

ふるさとかかし親の会 兵庫県姫路市

奥播磨かかしの里 展示施設の整備による過疎集落の活性化



団体設立経緯

2009年秋、会の代表が郷里の兵庫県姫路市安富町で「かかし」を製作し、集落一帯に設置して村おこし活動を始めたことから、賛同する有志により「ふるさとかかし親の会」が設立されました。

現在では、地元だけでなく各地からメンバーが集合し、かかしの製作とイベント運営などに当たっています。また親の会とは別に、かかしによる町おこしで交流のある県内外の団体を「ふるさとかかしネットワーク」として組織化し、連携を図っています。

活動概要と活動対象範囲

「ふるさとかかし親の会」は、兵庫県姫路市安富町で人間そっくりの「かかし」を製作し、町内最奥部に位置する居住戸数9戸、住民15名の閑地区（空き家は約27戸）の集落一帯に約

活動内容と成果

(1)かかし展示施設「ふるさとかかしギャラリー」の補修 (2018年5月)

「ふるさとかかしギャラリー」は、20年以上空き家で放置されていた古民家を改修したもので、当初は畠も撤去され、古材など不要物の置き場となっていました。しかし、レンガ造りの五右衛門風呂があったり、トイレが玄関の外にあったりと、昔の懐かしい思い出がよみがえる本当に貴重と言える建物でした。



縁側や周辺の畠にもかかしを配置



ベンチのかかしを囲んで



「ふるさとかかし親の会」のかかし製作教室

そこで建物の所有者にお願いし、私たちが建物を整備し維持管理することを条件に、かかしの展示施設として無償で提供していただきました。

家屋の周りの畠なども一体的に整備し、畠にも野良仕事のかかしを設置するなどしてふるさとの原風景を再現。「縁側でのお接待」イベントなど、交流の場としても活用していました。

ただ、長年空き家で放置されていた建物であり、老朽化のため屋根からの雨漏りが発生していました。天井や床の傷みが進み、床板が腐り足が踏み込めないような場所もありました。

このため助成金を活用し、屋根に雨漏り防止対策を施し、それに併せて、傷んだ天井・床を補修しました。これにより雨漏りの悩みからも解放され、「ひなまつり」イベントの特別展示なども従来以上に充実させることができました。かかしの里のメインとなる展示施設として、見物客からも喜ばれています。

(2)かかしの野外展示・休憩用のベンチの配置 (2018年5月)

かかしの里では、見物客がこの村を自分のふるさとと思い、のんびりと心を癒すひと時を過ごしてもらいたいと考えています。かかしの展示や見物客の休憩、各種イベントでの活用を図るために、木製ベンチを10台購入。集落内の各所に配置しました。

子どもたちがかかしと一緒にベンチに座って写真を撮っていたり、家族連れがベンチで休憩し弁当を食べたりするなど、のんびりと過ごす光景が見られます。また、一部のベンチは集落内の畠にも置かれ、畠仕事をする住民にも利用いただいており、住民との良好な関係の維持のために役立っています。

時には畠のベンチに座って休憩している村人を、見物客がかかしと間違えて笑いを誘っている場面が見られるなど、村人と見物客の交流にも役立っています。

(3)かかしの里PR対策用の「かかしの里写真集」小冊子の作成 (2018年6月)

「かかしの里」の写真集小冊子「かかしたちの語らいが聞こえる」(全24ページ)を作成しました。今にも動き出しそうなかかしの姿と、いかにも語り合っているような情景に思わずかかしの世界に入り込んでしまいます。

かかしの里をPRする有効なツールであり、かかしの里を視察など特別な目的で訪れる訪問者に配布したり、各種プレゼントーションの際に現地のイメージを伝える説明資料として配布し活用しています。

(4)「第9回ふるさとかかしサミット」の開催 (2018年11月17日)



ふるさとかかしサミット

今回で9回目の開催です。県内外のかかしによる町おこし団体、かかしを設置している里親団体合わせて24団体が参加。お互いに交流し地元をPR、特産品も販売しました。

当日は見物客も含め2000人以上の来客があり盛況でした。8月からサミット案内チラシを作成し各所へ配布の協力を依頼、関係団体への案内状の送付、テント17張りの確保と設営計画、保健所・消防署への所定の届け出など準備を進めてきました。

運営に当たっては「親の会」のメンバーのほか、地元自治会も会場の提供やテントの貸し出し、会場整備（会場の草刈り、駐車場の整備など）と大変協力いただきました。

かかしサミットでは例年、かかしの展示と物販のみに留まらず、「ふるさと」をテーマとした特別企画を開催しています。今回は、昔の風景・行事などの古写真を展示した「なつかしいふるさと展」を開催しました。地元自治会も協賛して、村の昔の消防団活動や祭りの様子を撮影した写真を展示していただきました。昭和30年ごろ、村の住民が全員参加して撮影した記念写真には約150人の人々が写っており、それが今では15人になっていることに感慨深く見入っている人々も見受けられました。

このイベントは地区住民15名の集落に、県内外から多数の団体や見物客がやって来る、他に例を見ないイベントです。同様の課題を抱え、活性化を目指す地域の取り組みの参考事例になるものと考えています。

(5)「私のこころのふるさと発見！花桃記念植樹イベント」の開催（2018年12月8日）

奥播磨かかしの里を更に魅力のある山里にしようと、集落一帯の共有地、耕作放棄地に花桃を植樹して「花桃の里」とする取り組みを進めています。今年度は兵庫県の「県政150周年記念県民連携事業」の助成金を受け、事業に合わせて花桃苗木150本を購入し、植樹しました。

耕作放棄地の中には土地の所有者が村を出て都会に居住し、管理されていない土地もたくさんあります。そこ



掘った穴に一株一株、苗木を植えていきます



作業後の交流会の様子

催しました。植樹は地元住民のほか、土地所有者、都会の参加希望者も含め約30名で作業しました。

中には穴を掘るのにスコップやツルハシを使ったことがないという女性もいて、村の住人が使い方を教えるなど、皆さん楽しそうに将来の「花桃の里」を夢見て作業に当りました。

作業後は参加者で交流会を開催し、「親の会」のメンバーが炭火でお餅を焼いてぜんざいを提供するなど、親交を深めました。今後、花桃が緑でこの村を「こころのふるさと」と思い、度々訪れていただく「かかしの里ファン」を増やしていきたいと考えています。

(6)「かかしの里のひなまつり」イベント

の開催（2019年1月20日～4月7日）

冬場のにぎわいづくりを図るため、かかしの里ならではのかかしによる「等身大ひな人形」の展示イベントを開催しました。今回で6回目の開催となります。多目的ホールの天井までとどく巨大な「ひな壇」や、ひな人形が車座になって宴会を楽しむ「ひな舞台」、女の子たちが集う「ひな御殿」などを展示します。一般的なひな人形の「すまし顔」のイメージとは全く異なり、



防犯カメラ作動中



等身大のひな人形を展示する「かかしの里のひなまつり」イベント

この植樹活動は、「奥播磨かかしの里があなたのこころのふるさとになります！」とのキャッチフレーズで新聞に掲載し、都会から趣旨に賛同する参加者を募集。植樹イベントとして開



村の風景に溶け込む「奥播磨かかしの里」のかかしたち



村の風景に溶け込む「奥播磨かかしの里」のかかしたち

酒瓶を抱えて騒いでいるひな人形など、ユニークな姿・表情をした他のどこにもないひな人形は、見物客に大変喜ばれました。

長机を何段も積み上げてひな壇にしたり、コンパネを張りめぐらせて毛せんを敷いたりするなど、会場設営が大掛かりで大変ですが、見物客の笑顔に報われます。特に今年はイベントの様子がいくつかのテレビ放送で紹介され遠方からの来客が多かったこと、また京阪神からの日帰りバスツアーの立ち寄りコースになったことから、12月中旬から2月中旬にかけて延べ約260台のバスツアーの来訪があるなど、大変にぎわいました。

課題と解決策

のどかな山里風景が魅力のかかしの里には、多くの見物客が訪れにぎわいを見せています。この環境は、今の村人の日常の努力で維持されています。しかし、依然住民の高齢化は進んでいるため、地区住民だけでは祭りなどの伝統行事の開催、家屋の補修や畠の作付け、草刈などの作業もままならない状況にあります。また、空き

今後の予定

「奥播磨かかしの里」をさらに魅力的なものにするためには、子どもからお年寄りまで誰もが喜ぶ新たな仕掛けが必要と考えています。

その1つとして、「もんぺ」などの野良着を着てかかしの里の住人になり、かかしと一緒に写真を撮る「なりきりフォトイベント」の準備を進めています。若者層・子ども連れの家族にもかかしの里に親しんでもらう狙いです。

こうした工夫を盛り込むことで、かかしの里ならではの、他のどこにもない独自の魅力を発信していくながら、にぎわいのある山里を目指したいと思っています。

●ふるさとかかし親の会

設立年月 2010年1月

メンバー数 15人

代表者名 岡上 正人（おかうえ・まさと）

Eメール okaue@furusato-kakashi.net

ウェブサイト http://furusato-kakashi.net/

FBページ https://www.facebook.com/furusato.kakashi.net/

【団体のミッション】私たちは、兵庫県姫路市安富町で人間そっくりのかかしを製作し、集落一帯に設置して「日本のふるさとの原風景」を再現。「奥播磨かかしの里」として、見物客を呼び込む村おこし活動を展開しています。